

城西大学経済学会研究会研究発表：
報告者および論題
(1965年～1974年6月)

- [1965年度] 長松 秀志：直接原価計算と原価の本質
井口 大介：古代のテレグラフ——電信以前のテレコミュニケーション
相沢 与一：産業革命期におけるイギリス炭礦の労働関係
高橋 俊夫：経営経済学の生成基盤について
原 秀男：価値相対主義法哲学の思想的系譜
- [1966年度] 中村雄次郎：クレディ・モビリエの短期社債について
井口 大介：国際マーケティング連合第2回アジア・太平洋地域会議について
原 秀男：政治ストの合法性，違法性をめぐる諸問題
長松 秀志：沖縄企業の実態について
- [1967年度] 井口 大介：書信の成立について
長松 秀志：会計的測定と経営情報システム
原 秀男：大塚史学の方法についての批判的考察
- [1968年度] 武市 春男：流通証券について
野沢孝之助：消費者金融におけるアド・オン方式について
渡辺 好章：パッケージングにみるマーケティング戦略
小林 毅：経済開発の必要性
森田 昌幸：東欧における社会主義国家の成立
青山 秀彦：日本における本源的蓄積期＝過程の諸問題
坂口 博：社会科学の方法についての一つの問題提起——経営学の立学から
桑田 勇三：債券の時価発行について
伊部 政一：ソビエツト経済の批判
- [1969年度] 加藤 武信：ウイナーのサイバネティックスについて
福田 豊：経済学の方法——宇野理論をめぐって
松田 福松：Concerning Lincoln's Gettysburg Address in Japanese Translation

- [1969年度] 紫藤 貞昭：近代化学の成立と物質観
西勝 忠男：チャールズ・パースの論理思想
井口 大介：インフォメーションとコミュニケーション——高度情報化社会の問題を中心に
山田 浜：コレットの作品とその文学について
伊部 政一：経済組織としての資本主義と社会主義——生活水準と経済成長率の問題を中心に
下条 英男：経済発展と蚕糸業
望月 敬之：成長的景気循環理論について
- [1970年度] 桑田 勇三：時価発行定着論
井口 大介：欧米におけるコミュニケーション発達史研究の現況について
大沢 正：中小企業政策論への一考察
野沢孝之助：ゴードンの株価モデルについて
平井 潔：経営における事業部制と財務
井口 大介：コミュニケーション史の視点
中村 敏昭：医師の応召義務
渡辺 好章：ハーバード方式ケース・メソッドについて
深沢 一彦：国富論について
森 祖道：西南アジアの仏教遺跡について
室本 誠二：我国税制の批判
- [1971年度] 小宮山宏之：監査役の責任
井口 大介：未来論の系譜
下条 英男：国際通貨不安と円切上げ問題について
渡辺 好章：コンシューマリズム
桑田 勇三：証券発行市場における証券業と金融業の職能分離
原田 行男：二元的価値測定
野沢孝之助：イタリアの財務数学書について
小林 毅：低開発の概念
坂本 新三：福祉国家
- [1972年度] 坂本 新三：福祉国家（承前）
西勝 忠男：ラッセル哲学の再評価
小淵 洋一：社会的費用と交通政策

- 【1972年度】 保永 昌宏：多国籍企業の動向
田村 正夫：首都圏の都市成長前線帯における商家の形成
小宮山宏之：全員出席総会
坂口 博：組織行動論の分析視角
井汲 明夫：流通媒介物の流通量
下条 英男：戦後の世界経済の成長
- 【1973年度】 西勝 忠男：イギリス留学雑感
貞末 堯司：邪馬台国について
坂本 新三：経済学への記号の応用
渡辺 好章：問題解決の日本的メカニズム
岩井 主蔵：日本の流通システム革新
太田 広：1520年と1525年のルター
武田 実：職務評価手法適用の限界
蒔田 栄一：ロンドンの印象
鈴木 喬：経営変化対応の診断手法
松田 福松：斉藤秀三郎先生の思い出
井汲 明夫：紙幣と蓄蔵貨幣の機能
岩谷 元輝：エマソンについて
中西 充子：リカードオの貨幣・金融理論
- 【1974年度】 清水 公一：広告のシステムズ・アプローチ
(6月まで) 帆足喜代子：要求水準と達成動機
松浦 孝作：人間疎外について
杉原誠四郎：知的好奇心